

鹿児島工業高等専門学校		開講年度	平成29年度 (2017年度)		授業科目	国語Ⅱ
科目基礎情報						
科目番号	0001		科目区分	一般 / 必修		
授業形態	講義		単位の種別と単位数	履修単位: 2		
開設学科	情報工学科		対象学年	2		
開設期	通年		週時間数	2		
教科書/教材	現代文A（東京書籍）／高等学校 古典B〔古文編〕（三省堂）／現代文A 学習課題ノート（東京書籍）／高等学校〔古典B〕古文編 学習課題ノート（三省堂）／図説国語（東京書籍）／プラクティカル日本語文章表現編（おうふう）／チャレンジ常用漢字（第一学習社）／各種辞書					
担当教員	田中 智樹					
到達目標						
近現代の様々な文章および古典を読む能力を高めるとともに、ものの見方、考え方を深め、進んで表現する態度を育てる。						
ルーブリック						
		理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	未到達レベルの目安		
評価項目1 文学作品の読解をととして、多様な日本語文法や表現方法を理解することができる。		作品に使用される語句の意味と働きを正しく理解した上で、それらを説明することができ、自らに応用することができる。	作品に使用される語句の意味を理解し、文脈において、それらの効果、働きを理解することができる。	作品に使用される語句の知識が不十分であり、作品の読解が深まらず、内容を説明することができない。		
評価項目2 文学作品の読解をととして、多様なものの見方や考え方を理解することができる。		作品の読解を通して、作者の立場や登場人物の立場を理解し、自らの視点から批評することができる。	作品の読解をととして、作者の観点や登場人物の視点を理解し、文章を多角的にとらえることができる。	作品の読解を通して、作者の視点や立場を理解することができず、多様な考え方に対する把握が不十分である。		
評価項目3 文学作品の読解をととして、日本語、日本文化に対する高い関心を持つことができる。		作品を通して、日本独自の文字や語句、表現などを理解し、異文化に対する日本文化の特徴を説明することができる。	作品を通して、日本独自の文字や語句、表現などについて関心を持ち、異文化との相異点を理解することができる。	作品を通して、日本独自の文字や語句、表現についての知識が不十分であり、異文化との相異点が明示できない。		
学科の到達目標項目との関係						
本科（準学士課程）の学習・教育到達目標 1-a 本科（準学士課程）の学習・教育到達目標 2-a						
教育方法等						
概要	1 年次の「国語Ⅰ」で身に付けた、現代文・古文・漢文・言語の既修事項を踏まえて、深い教養を身につけ、よりよい社会生活を送るために、国語の総合力をのばす科目である。3 年次の「国語Ⅲ」、4 年次の「日本語表現」へと発展する。					
授業の進め方・方法	本年度は、現代文と古典とに教科書を分けて用いる。これにより現代文と古典とによる相互比較から、それぞれの特徴を浮き彫りにし、作品理解をさらに深めていく。また文章作法の習得にも力を入れ、読解力に加えて、語彙力、表現力の習得を目指す。そのために『プラクティカル日本語文章表現編』、『チャレンジ常用漢字』などのテキストを用い、特に後者については定期的に試験を行うことで知識の定着を試みる。					
注意点	教材の中の様々な問題について自分の意見をもち、的確に表現できるようにする。常用漢字、重要語句を確実に修得する。また、授業に積極的に関わり、教師からの質問にも進んで答えるよう心がける。					
授業計画						
		週	授業内容	週ごとの到達目標		
前期	1stQ	1週	小説：山月記	李徴が虎に変身するまでのプロセスを正確に把握する。袁慆に訴える悩みの内容の変化を理解し、それに対する袁慆の感想を対置させながら、李徴が真実に気づいていく過程を整理できる。漢字・語句を正しく読み書きし、その意味を理解し、利用することができる。		
		2週	小説：山月記	李徴が虎に変身するまでのプロセスを正確に把握する。袁慆に訴える悩みの内容の変化を理解し、それに対する袁慆の感想を対置させながら、李徴が真実に気づいていく過程を整理できる。漢字・語句を正しく読み書きし、その意味を理解し、利用することができる。		
		3週	小説：山月記	李徴が虎に変身するまでのプロセスを正確に把握する。袁慆に訴える悩みの内容の変化を理解し、それに対する袁慆の感想を対置させながら、李徴が真実に気づいていく過程を整理できる。漢字・語句を正しく読み書きし、その意味を理解し、利用することができる。		
		4週	小説：山月記	李徴が虎に変身するまでのプロセスを正確に把握する。袁慆に訴える悩みの内容の変化を理解し、それに対する袁慆の感想を対置させながら、李徴が真実に気づいていく過程を整理できる。漢字・語句を正しく読み書きし、その意味を理解し、利用することができる。		
		5週	小説：山月記	李徴が虎に変身するまでのプロセスを正確に把握する。袁慆に訴える悩みの内容の変化を理解し、それに対する袁慆の感想を対置させながら、李徴が真実に気づいていく過程を整理できる。漢字・語句を正しく読み書きし、その意味を理解し、利用することができる。		
		6週	漢詩：漢詩文の基礎	山月記でも学習した漢詩について、基本的な形式の違いや特徴が理解できる。漢詩文の基本的な文体と句法を確認しつつ訓読ができる。		

後期		7週	漢詩：漢詩文の基礎	山月記でも学習した漢詩について、基本的な形式の違いや特徴が理解できる。 漢詩文の基本的な文体と句法を確認しつつ訓読ができる。
		8週	試験答案の返却・解説	授業項目について達成度を確認する。 試験において間違えた部分を自分の課題として把握する。
	2ndQ	9週	評論「『環境史』から考える」	明治時代の新聞の予言をもとにした筆者の意見、筆者の言う近代化の弊害を正確に読み取り、筆者の主張や意見を理解できる。 筆者の言う今後の人類の課題について理解できる。 漢字・語句を正しく読み書きし、またその意味を理解し、利用できる。
		10週	評論「『環境史』から考える」	明治時代の新聞の予言をもとにした筆者の意見、筆者の言う近代化の弊害を正確に読み取り、筆者の主張や意見を理解できる。 筆者の言う今後の人類の課題について理解できる。 漢字・語句を正しく読み書きし、またその意味を理解し、利用できる。
		11週	評論「『環境史』から考える」	明治時代の新聞の予言をもとにした筆者の意見、筆者の言う近代化の弊害を正確に読み取り、筆者の主張や意見を理解できる。 筆者の言う今後の人類の課題について理解できる。 漢字・語句を正しく読み書きし、またその意味を理解し、利用できる。
		12週	評論「『環境史』から考える」	明治時代の新聞の予言をもとにした筆者の意見、筆者の言う近代化の弊害を正確に読み取り、筆者の主張や意見を理解できる。 筆者の言う今後の人類の課題について理解できる。 漢字・語句を正しく読み書きし、またその意味を理解し、利用できる。
		13週	評論「もう一つの知性」	段落ごとに筆者の論旨の展開を追うことで、筆者の意見を具体的に説明できる。 □「知る」「知識」「知性」という語句を正しい理解を通して、「もう一つの知性」とは何かを具体的に説明できる。 □漢字・語句を正しく読み書きし、またその意味を理解し、利用できる。
		14週	評論「もう一つの知性」	段落ごとに筆者の論旨の展開を追うことで、筆者の意見を具体的に説明できる。 □「知る」「知識」「知性」という語句を正しい理解を通して、「もう一つの知性」とは何かを具体的に説明できる。 □漢字・語句を正しく読み書きし、またその意味を理解し、利用できる。
		15週	試験答案の返却・解説	授業項目について達成度を確認する。 試験において間違えた部分を自分の課題として把握する。
		16週		
	3rdQ	1週	物語 竹取物語 「かぐや姫の昇天」	物語という古典分野を理解し、文学史における作り物語の価値・位置づけを説明できる。 □ 古語及び、助動詞の用法等に注意して、全文の意味を正しく読み解くことができる。 □ 作品をとおして、当時の人々の生活・文化・風習を説明できる。
		2週	物語 竹取物語 「かぐや姫の昇天」	物語という古典分野を理解し、文学史における作り物語の価値・位置づけを説明できる。 □ 古語及び、助動詞の用法等に注意して、全文の意味を正しく読み解くことができる。 □ 作品をとおして、当時の人々の生活・文化・風習を説明できる。
		3週	物語 竹取物語 「かぐや姫の昇天」	物語という古典分野を理解し、文学史における作り物語の価値・位置づけを説明できる。 □ 古語及び、助動詞の用法等に注意して、全文の意味を正しく読み解くことができる。 □ 作品をとおして、当時の人々の生活・文化・風習を説明できる。
		4週	物語 竹取物語 「かぐや姫の昇天」	物語という古典分野を理解し、文学史における作り物語の価値・位置づけを説明できる。 □ 古語及び、助動詞の用法等に注意して、全文の意味を正しく読み解くことができる。 □ 作品をとおして、当時の人々の生活・文化・風習を説明できる。
		5週	随筆 方丈記 「ゆく河の流れ」	随筆という古典分野を理解し、作品及び作者の文学史上の価値・位置づけを説明できる。 古語の意味及び古文特有の表現を正しく身につける。 基本的な文法事項だけでなく、敬語の使い方が正しく身につける。

		6週	随筆 方丈記 「ゆく河の流れ」	随筆という古典分野を理解し、作品及び作者の文学史上の価値・位置づけを説明できる。 古語の意味及び古文特有の表現を正しく身につける。 基本的な文法事項だけでなく、敬語の使い方が正しく身につける。
		7週	随筆 方丈記 「ゆく河の流れ」	随筆という古典分野を理解し、作品及び作者の文学史上の価値・位置づけを説明できる。 古語の意味及び古文特有の表現を正しく身につける。 基本的な文法事項だけでなく、敬語の使い方が正しく身につける。
		8週	試験答案の返却・解説	授業項目について達成度を確認する。 試験において間違えた部分を自分の課題として把握する。
	4thQ	9週	日記 和泉式部日記 「夢よりもはかなき世の中を」 紫式部日記 「和泉式部と清少納言」	日記文学の重要性をふまえ、作品の価値を文学史上に位置付けできる。 基本的な文法事項及び修辞法を理解することができる。 内容を正しくとらえ、作者の心情を正確に理解することができる。 □ 作品をとおして、当時の人々の生活・文化・風習を理解することができる。
		10週	日記 和泉式部日記 「夢よりもはかなき世の中を」 紫式部日記 「和泉式部と清少納言」	日記文学の重要性をふまえ、作品の価値を文学史上に位置付けできる。 基本的な文法事項及び修辞法を理解することができる。 内容を正しくとらえ、作者の心情を正確に理解することができる。 □ 作品をとおして、当時の人々の生活・文化・風習を理解することができる。
		11週	日記 和泉式部日記 「夢よりもはかなき世の中を」 紫式部日記 「和泉式部と清少納言」	日記文学の重要性をふまえ、作品の価値を文学史上に位置付けできる。 基本的な文法事項及び修辞法を理解することができる。 内容を正しくとらえ、作者の心情を正確に理解することができる。 □ 作品をとおして、当時の人々の生活・文化・風習を理解することができる。
		12週	日記 和泉式部日記 「夢よりもはかなき世の中を」 紫式部日記 「和泉式部と清少納言」	日記文学の重要性をふまえ、作品の価値を文学史上に位置付けできる。 基本的な文法事項及び修辞法を理解することができる。 内容を正しくとらえ、作者の心情を正確に理解することができる。 □ 作品をとおして、当時の人々の生活・文化・風習を理解することができる。
		13週	日記 和泉式部日記 「夢よりもはかなき世の中を」 紫式部日記 「和泉式部と清少納言」	日記文学の重要性をふまえ、作品の価値を文学史上に位置付けできる。 基本的な文法事項及び修辞法を理解することができる。 内容を正しくとらえ、作者の心情を正確に理解することができる。 □ 作品をとおして、当時の人々の生活・文化・風習を理解することができる。
		14週	第Ⅰ部 文章作成の基礎 8章～9章	文体統一の基本を理解できる。 正しい引用により読み手の信頼を高めることができる
		15週	試験答案の返却・解説	授業項目について達成度を確認する。 試験において間違えた部分を自分の課題として把握する。
		16週		

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標					
分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
評価割合					
	試験	授業態度	小テスト	提出物	合計
総合評価割合	50	5	30	15	100
基礎的能力	50	5	30	15	100
専門的能力	0	0	0	0	0